

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和3(2021)年度)

| | | |
|--------------------------|------------|--------------|
| 法人名(団体名) 川崎冷蔵株式会社 | 所管課 | 経済労働局北部市場管理課 |
|--------------------------|------------|--------------|

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

生鮮食料品等を大量に取引する北部市場においては、取り扱い物品の円滑な流通を図るために冷蔵・冷凍保管機能が必要不可欠であり、冷蔵・冷凍設備は、北部市場に欠かすことのできない附属設備です。しかし、これらの業務や施設の運営は専門性が高いことから、専門性を有した外部主体の活用が効果的です。当該法人が柔軟かつ効率的な業務運営を行うとともに、公共性を保持しつつ企業的創意と工夫を行うことにより、市民への安定的かつ効率的な生鮮食料品等の供給を実現するための一翼を担います。

| | | | |
|--------------|---------------|-------------------|-----------------|
| 法人の取組と関連する計画 | 市総合計画と連携する計画等 | 基本政策 | 施策 |
| | | 活力と魅力あふれる力強い都市づくり | 魅力と活力のある商業地域の形成 |
| | 分野別計画 | 川崎市卸売市場経営プラン | |

4カ年計画の目標

- ・市民に安定的かつ効率的に生鮮食料品等を供給する卸売市場の機能は、今後とも大変重要で必要な機能です。当該法人が、効率的で安定的な経営を確保しながら、場内事業者等に対して冷蔵・冷凍保管機能等のサービス提供や凍氷の製造販売を行うことは、その機能の実現に大きく寄与するものであることから、今後とも連携・活用を図っていきます。
- ・場内事業者の利用ニーズを踏まえ、稼働率向上に向け場内・場外事業者への効果的な営業展開等に努め、売上の確保を図るとともに、計画的な修繕や動力費の抑制等により経費の削減を、引き続き行っていきます。
- ・当該法人が建設した3号棟冷蔵庫にかかる長期借入金を、経営改善計画に基づき返済を進め、債務超過を解消するとともに、今後も安定的な経営を図り、市民への安定的かつ効率的な生鮮食料品等の供給を実現するための一翼となることを期待します。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

| 取組№ | 事業名 | 指標 | 単位 | 現状値 (平成29 (2017)年度) | 目標値 (令和3 (2021)年度) | 実績値 (令和3 (2021)年度) | 達成度 (※1) | 本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3) | 今後の取組の 方向性 (※4) |
|-----|--------------|---------------|----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------|--|-----------------------|
| ① | 冷蔵・冷凍保管業務事業 | 一般保管取扱量(入庫量) | t | 18,786 | 18,786 | 16,086 | c | C | II |
| | | 容積建稼働率(容積ベース) | % | 95 | 93 | 95 | a | | |
| | | 事業別の行政サービスコスト | 千円 | △ 84,659 | △ 69,447 | △ 71,725 | | | |
| ② | 氷の製造及び販売業務事業 | 凍氷販売量 | t | 1,027 | 1,025 | 475 | d | E | II |
| | | 事業別の行政サービスコスト | 千円 | △ 4,465 | △ 2,100 | 5,678 | | | |

3. 経営健全化に向けた取組

| 取組No. | 項目名 | 指標 | 単位 | 現状値 (平成29 (2017)年度) | 目標値 (令和3 (2021)年度) | 実績値 (令和3 (2021)年度) | 達成度 | 本市による 評価 ・達成状況 | 今後の取組の 方向性 |
|-------|---------|------|----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-----|----------------------|---------------|
| ① | 経常利益の確保 | 経常利益 | 千円 | 57,651 | 54,000 | 37,817 | c | C | Ⅱ |

4. 業務・組織に関する取組

| 取組No. | 項目名 | 指標 | 単位 | 現状値 (平成29 (2017)年度) | 目標値 (令和3 (2021)年度) | 実績値 (令和3 (2021)年度) | 達成度 | 本市による 評価 ・達成状況 | 今後の取組の 方向性 |
|-------|------------------|----------------------------|----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-----|----------------------|---------------|
| ① | 「経営モニタリング委員会」の開催 | 「経営モニタリング委員会」の開催回数 | 回 | 2 | 2 | 2 | a | A | I |
| ② | コンプライアンスの遵守 | 倉庫業に必要なコンプライアンスに反する事案の発生件数 | 件 | 0 | 0 | 0 | a | A | I |

【※1】a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

【※2】A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

【※3】(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

【※4】I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

新型コロナウイルス感染症の影響による水産物部の市場取扱量の低迷やイベントの減少が、売上に影響を及ぼしている状況は続いています。場内事業者の利用ニーズを踏まえ、新規顧客の開拓や場外事業者へ営業活動を積極的に努めるなど、冷蔵庫の利用率の向上等に努めました。また、経費の節減に努め、収支の改善、長期借入金の返済を進めるとともに、計画的な修繕による施設機能の保全も行うなど、独立した法人として自主的・自立的な経営への確保に向けて、引き続き経営の改善に努めました。

【令和3(2021)年度取組評価における総括コメント】

新型コロナウイルス感染症等の影響により水産物部の取扱量が低迷を続けていることもあり、一般保管取扱量のほか凍水販売量、経常利益において目標を達成することができませんでしたが、新規顧客の獲得や人件費等経費の削減を図ったほか、計画的に長期借入金の返済を進めています。令和4年度以降も、新型コロナウイルス感染症の影響や電気料金の高騰等、不透明な中でありますが、引き続き、売上高の維持・拡大及び動力費等経費の抑制に努め、持続可能な会社運営の視点に立った経営に努める必要があります。また、現在もなお市より使用料の減免を受けている状況であることから、今後も更なる経営改善を進めるとともに、今後の経営に関する方針の策定など、独立した法人として経営が行われるよう取組を進めていく必要があります。

| | | | |
|----------|----------|-----|--------------|
| 法人名(団体名) | 川崎冷蔵株式会社 | 所管課 | 経済労働局北部市場管理課 |
|----------|----------|-----|--------------|

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和3(2021)年度)

| | |
|-------------------|---|
| 事業名 | 冷蔵・冷凍保管業務事業 |
| 計 画 (Plan) | |
| 指標 | ①一般保管取扱量(入庫量)、②容積建稼働率(容積ベース) |
| 現状 | 市場経由率の低下や市場間競争の激化など、卸売市場を取り巻く環境は依然厳しい状況であり、北部市場水産物部の取扱量も減少が続いています。そのため、場内事業者の需要も減少傾向ですが、場内利用を踏まえた場外事業者への営業強化等により売上を確保している状況です。 |
| 行動計画 | 卸売市場として冷蔵・冷凍保管機能を担う重要な事業となるため、引き続き、青果部や花き部を含めた北部市場全体の需要の掘り起こしに努めるとともに、場内事業者による利用を踏まえた場外事業者への売上拡大の取組を進める等により、一般保管取扱量及び容積建稼働率の確保・増加に努め、事業を推進します。 |
| 具体的な取組内容 | 新型コロナウイルス感染症の影響により水産物部の取扱いが減少する中、一般保管取扱量及び容積建稼働率の増加を図るため、飲食店向けの商品は減少傾向であることから、量販店向けの商品を積極的に預かるなど、北部市場全体の需要の掘り起こしに努めるとともに、場内事業者による利用を踏まえた場外事業者への売上確保に向けた取組を進めてまいります。 |

実施結果 (Do)

| | |
|----------------|---|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】 一般保管については、取扱量の増加に向けて場内事業者等の顧客からの紹介等の営業活動に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による水産物部の取扱量の低迷等により、一般保管取扱量の入庫量は16,086t(前年比91.4%)となり、その結果一般保管売上高は154,222千円(前年比98.7%、2,068千円減)となりました。</p> <p>【指標2関連】 容積建保管については、利用者の出入りはありましたが、新規顧客の獲得等に取り組んだことにより、年間を通して安定的に稼働率を維持し、容積建稼働率は95%(前年比1%減)となり、その結果容積建売上額も208,225千円(前年比98.7%、2,700千円減)となりました。</p> |
|----------------|---|

評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標 | | 目標・実績 | H29年度 (現状値) | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|----------------|---|-------|---|--------|--------|--------|--------|----|
| 1 | 一般保管取扱量(入庫量) | 目標値 | | 18,786 | 18,786 | 18,786 | 18,786 | t |
| | 説明 一般保管取扱量の確保・増加に努め、事業を推進します。 ※個別設定値: 17,847(現状値の95%) | 実績値 | 18,786 | 17,970 | 17,748 | 17,593 | 16,086 | |
| 2 | 容積建稼働率(容積ベース) | 目標値 | | 93 | 93 | 93 | 93 | % |
| | 説明 容積建稼働率の維持・向上に努め、事業を推進します。 | 実績値 | 95 | 93 | 94 | 96 | 95 | |
| 指標1 に対する達成度 | | C | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 | | | | | |
| 指標2 に対する達成度 | | a | | | | | | |

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和3年度の一般保管取扱量については、新型コロナウイルス感染症の影響による市場取扱量の減少もあり、新規顧客の獲得に努めたものの昨年度に引き続き低迷しました。特に令和3年度は令和2年度と比較して、主な取引先が飲食店である場外事業者の利用が減少したことなどもあり、結果的に前年度の91%となりました。また、容積建稼働率については、利用をやめた事業者もありましたが、市場内顧客の掘り起こしなどに努めた結果、場内事業者との新規契約の締結などもあり、目標値を上回りました。

本市
による評価

| 区分 | 区分選択の理由 |
|---|---|
| 達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った | C 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、指標1の一般保管取扱量(入庫量)については、新規顧客の獲得等に努めたものの目標を下回りました。指標2の容積建稼働率(容積ベース)は、新規の顧客を獲得したことなどから、目標値を達成することができたため。 |

| 行政サービスコスト | | 目標・実績 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|------------------|--------------------|-------|--|----------|----------|----------|----------|----|
| 1 | 事業別の行政サービスコスト | 目標値 | | △ 63,447 | △ 65,447 | △ 67,447 | △ 69,447 | 千円 |
| | 説明 直接事業費ー直接自己収入 | 実績値 | △ 84,659 | △ 61,411 | △ 58,873 | △ 66,458 | △ 71,725 | |
| 行政サービスコストに対する達成度 | | | 1. 実績値が目標値の100%未満 2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4. 実績値が目標値の120%以上 | | | | | |

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市
による評価

| 区分 | 区分選択の理由 |
|--|---------|
| 費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である | |

改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|--|---|
| | Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止 | Ⅱ 新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き懸念される中、北部市場水産物部の取扱量が低迷している状況です。しかし、冷蔵・冷凍保管業務は卸売市場にとって欠くことができない重要な事業であることから、引き続き市場内顧客の掘り起こしを図ることに加え、ホームページも活用するなど、場内事業者の利用ニーズを踏まえ、場内外事業者への営業展開に努め、一般保管取扱量及び容積建稼働率の確保・増加を図ってまいります。 |

| | | | |
|----------|----------|-----|--------------|
| 法人名(団体名) | 川崎冷蔵株式会社 | 所管課 | 経済労働局北部市場管理課 |
|----------|----------|-----|--------------|

本市施策推進に向けた事業取組②(令和3(2021)年度)

| | |
|-------------------|--|
| 事業名 | 氷の製造及び販売業務事業 |
| 計 画 (Plan) | |
| 指標 | 凍氷販売量 |
| 現状 | 市場経由率の低下や市場間競争の激化など、卸売市場を取り巻く環境は依然厳しい状況であり、北部市場全体の取扱量も減少を続けています。それら荷の減少、さらには利便性から自前の製氷装置で氷を作る業者が増えてきており、場内事業者への売上は減少傾向にあります。そのため、場外事業者等に対するPRや営業強化等により売上を確保している状況です。 |
| 行動計画 | 北部市場水産物部の取扱量が減少を続ける中であっても、今後も卸売市場の冷蔵・冷凍保管機能を担う重要な事業です。場内事業者への売上は減少傾向にあるものの、需要の掘り起こしに努めるとともに、場外事業者に対するPRや営業強化等より、引き続き、事業を推進していきます。 |
| 具体的な取組内容 | 新型コロナウイルス感染症の影響等による水産物の取扱高の減少やイベントの中止などに伴う氷の需要の大幅な減少など、非常に厳しい状況が想定される中、氷の窓口販売について従来の4月～10月の7ヶ月間としていたものを令和3年度は7月・8月の2ヶ月間とし、他の期間はコイン販売とすることで、人件費の抑制を行うなど、経費の抑制に努めていくとともに、引き続き、新たな需要の掘り起こしに向け、ホームページで利用方法の動画配信を行うなど、わかりやすい情報発信に努め、稼働率の維持・向上を図ります。 |

実施結果 (Do)

| | |
|----------------|---|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】</p> <p>凍氷の売上が減少傾向にある中、氷の窓口販売について従来の4月～10月の7ヶ月間としていたものを繁忙期である7月・8月の2ヶ月間に限定し、他の期間はコイン販売とすることで人件費の抑制を行うなど、経費の削減にも取り組みながら凍氷の販売を行いました。また、引き続き場内事業者への需要の掘り起こしやさらなる販路拡大のためのホームページによる利用方法の動画配信を実施するなどPRに取り組みました。</p> |
|----------------|---|

評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標 | | 目標・実績 | H29年度 (現状値) | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|----------------|-------|---|---|-------|-------|-------|-------|----|
| 1 | 凍水販売量 | 目標値 | 1,027 | 1,025 | 1,025 | 1,025 | 1,025 | t |
| | 説明 | 凍水販売量の維持・向上に努め、事業を推進します。 ※個別設定値:976(現状値の95%) | | 実績値 | 944 | 808 | 592 | |
| 指標1 に対する達成度 | | d | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 | | | | | |

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

新型コロナウイルス感染症の影響等による水産物部の市場取扱量の低迷やイベントの減少等のほか、場内事業者が自らの店舗に製氷機を設置していることもあり、凍水の販売量が減少しています。そうした中、ホームページによる凍水販売のPR等新規顧客の獲得に努めましたが、前年度比80%と氷の販売量は大きく減少しました。

| 本市による評価 | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由 |
|---------|------|--|---------|
| | | A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った | E |

| 行政サービスコスト | | 目標・実績 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|------------------|---------------|--------------|--|---------|---------|---------|---------|----|
| 1 | 事業別の行政サービスコスト | 目標値 | △ 4,465 | △ 2,100 | △ 2,100 | △ 2,100 | △ 2,100 | 千円 |
| | 説明 | 直接事業費ー直接自己収入 | | 実績値 | △ 2,121 | 266 | 4,337 | |
| 行政サービスコストに対する達成度 | | | 1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上 | | | | | |

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

新型コロナウイルス感染症の影響による水産物部の市場取扱量の低迷やイベントの減少、場内事業者による自らの店舗内への製氷機の設置により、年々凍水販売量が減少する中、今年度は目標値の46.3%となりました。その結果、事業単体では人件費の抑制を図ったものの、赤字となっており「氷の製造及び販売業務事業」の採算性は、従前からの課題の1つとなっています。行政サービスコストを要するようになったわけではなく、現状、「冷蔵・冷凍保管業務事業」から補填が十分できている状況もあり、引き続き生鮮食品の安心・安全を確保する公的な役割を果たしてまいります。

| 本市による評価 | 費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価) | 区分 | 区分選択の理由 |
|---------|--|--|---------|
| | | (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である | |

改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|---|-----------|
| | I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 | II |

| | | | |
|----------|----------|-----|--------------|
| 法人名(団体名) | 川崎冷蔵株式会社 | 所管課 | 経済労働局北部市場管理課 |
|----------|----------|-----|--------------|

3. 経営健全化に向けた取組①(令和3(2021)年度)

| | |
|------------------|--|
| 項目名 | 経常利益の確保 |
| 計画 (Plan) | |
| 指標 | 経常利益 |
| 現状 | 市場全体の取扱量が減少する中、場外事業者を含めた販路の拡大や稼働率の向上、経費の抑制等に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保しています。 |
| 行動計画 | 引き続き、売上高の維持・拡大及び経費の抑制に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保するとともに、持続可能な長期的会社運営の視点に立ち、経営を行っていきます。 |
| 具体的な取組内容 | 新型コロナウイルス感染症の影響により水産物部の取扱いが減少する厳しい状況の中、より一層場外事業者を含めた販路の拡大等による売上高の確保や冷凍・冷蔵サービスの維持向上等に取り組むとともに、計画的な修繕や動力費及び人件費の抑制等引き続き経費の削減に取り組むことで経常利益の確保に努めてまいります。 |

実施結果 (Do)

| | |
|---------------|---|
| 経営健全化に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】 収入面においては、営業活動により年間の安定した収入となる容積稼働率を維持し、支出面においては人件費の抑制など、経費の節減にも引き続き取り組みました。</p> <p>【その他】 3号棟冷蔵庫自動倉庫制御更新工事(8,540千円)や特別修繕引当の積み増し(20,000千円)を行うなど、中長期的な視点に立ち、会社の安定的な経営環境を確保するための対応を行いました。</p> |
|---------------|---|

評価 (Check)

| 経営健全化に関する指標 | | 目標・実績 | H29年度 (現状値) | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|--|---|-------|---|--------|--------|--------|--------|----|
| 1 | 経常利益 | 目標値 | | 48,000 | 50,000 | 52,000 | 54,000 | 千円 |
| | 説明 経営健全化に向け、長期借入金返済の原資を確保し、債務超過を解消します。 | 実績値 | 57,651 | 37,530 | 33,010 | 37,162 | 37,817 | |
| 指標1に対する達成度 | | C | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 | | | | | |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について) | | | | | | | | |
| 売上は、容積建保管において前年度より減少したものの、引き続き95%と高い稼働率を確保しましたが、市場取扱量の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により全体としては前年度比98.1%と減少し、また、経費面においても、動力費が引き続き高い水準にあり、さらに施設保全に必要な修繕を着実に実施するなどにより、経常利益は目標値に至りませんでした。 | | | | | | | | |

| | | | |
|--|------|--|---|
| | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由 |
| | | A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った | C 容積建保管において目標を達成したものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり売上全体は、前年度比98.1%となりました。この結果、経常利益について目標を達成することはできませんでしたが、人件費の削減、計画的な修繕として、3号棟冷蔵庫自動倉庫制御更新工事(8,540千円)の実施や特別修繕引当金(20,000千円)など会社の安定的な運営に向けた取組を行っているため。 |

改善 (Action)

| | | |
|----------------------------------|---|---|
| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
| | I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 | II 今後も新型コロナウイルス感染症の影響等により厳しい経営環境が継続することが想定されますが、より一層北部市場内において需要の掘り起こしに努めるなど、売上高の維持・拡大に努めるとともに、経費の抑制及び安定的な経営に努めていきます。 |

| | | | |
|----------|----------|-----|--------------|
| 法人名(団体名) | 川崎冷蔵株式会社 | 所管課 | 経済労働局北部市場管理課 |
|----------|----------|-----|--------------|

4. 業務・組織に関する取組①(令和3(2021)年度)

| | |
|------------------|---|
| 項目名 | 「経営モニタリング委員会」の開催 |
| 計画 (Plan) | |
| 指標 | 「経営モニタリング委員会」の開催回数 |
| 現状 | 当該法人が策定した「経営改善基本計画書」の進捗管理や本計画に基づく取組の検証などを行うため、市や関係金融機関等により組織する「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を設置し、本委員会を年2回程度、開催しています。 |
| 行動計画 | 引き続き、「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を実施し、「経営改善基本計画書」の進捗管理や本計画に基づく取組の検証などを行っていきます。 |
| 具体的な取組内容 | 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、モニタリング委員会を年2回開催し、委員会のメンバーである市・関係金融機関・中小企業診断士により事業計画や収支状況についての確認・点検を行うことにより取組の進捗管理を行っていきます。また、借入金の返済終了に向けて、独立した法人として安定的な経営が確保できるよう検討を行ってまいります。 |

実施結果 (Do)

| | |
|---------------|---|
| 業務・組織に関する活動実績 | 【指標1関連】 計画のとおり、委員会のメンバーである市や関係金融機関、中小企業診断士などにより、「川崎冷蔵株式会社経営モニタリング委員会」を年2回開催しました。会議では、事業計画や収支状況、決算見込等について点検・確認を行い、「経営改善基本計画書」に基づく取組の進捗管理を行いました。 |
|---------------|---|

評価 (Check)

| 業務・組織に関する指標 | | 目標・実績 | H29年度 (現状値) | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|--|-------------------------------------|-------|---|-------|------|------|------|----|
| 1 | 「経営モニタリング委員会」の開催回数 | 目標値 | | 2 | 2 | 2 | 2 | 回 |
| | 説明 本委員会の開催を通じて、計画の進捗管理や取組の検証等を図ります。 | 実績値 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 指標1に対する達成度 | | a | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 | | | | | |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について) | | | | | | | | |
| 計画通り年2回の「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を10月と3月に実施し、経営状況の確認等を行いました。 | | | | | | | | |

| | | | |
|--|------|--|---|
| | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由 |
| | | A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った | A 計画通り「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を実施し、経営状況の確認等を行ない、効率的・安定的な経営に生かせるよう努めているため。 |

改善 (Action)

| | | |
|----------------------------------|---|-----------|
| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
| | I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 | I |

| | | | |
|----------|----------|-----|--------------|
| 法人名(団体名) | 川崎冷蔵株式会社 | 所管課 | 経済労働局北部市場管理課 |
|----------|----------|-----|--------------|

業務・組織に関する取組②(令和3(2021)年度)

| | |
|------------------|--|
| 項目名 | コンプライアンスの遵守 |
| 計画 (Plan) | |
| 指標 | 倉庫業に必要なコンプライアンスに反する事案の発生件数 |
| 現状 | 倉庫業法や電気事業法、高圧ガス保管法、フロン排出抑制法等、倉庫業に必要な法令等を遵守した経営を行っています。 |
| 行動計画 | 引き続き、倉庫業経営に関わる法令等を遵守した、コンプライアンスに重点を置いた経営を推進していきます。 |
| 具体的な取組内容 | 各法令に基づき管理責任者等の選任や、設備の点検・記録、各種申請・届出・報告など適切に実施していきます。また令和3年6月よりHACCPの義務化に伴い、5月より衛生管理計画書を作成し実行していきます。 |

実施結果 (Do)

| | |
|-------|--|
| 指標1関連 | 【指標1関連】 各法令等や衛生管理契約書に基づき、管理責任者等の選任や設備の点検・記録、各種申請・届出・報告など、適切に実施しました。また、衛生管理計画に基づき、チェックシート等を活用し、管理状況の確認等を行いました。 |
|-------|--|

評価 (Check)

| 業務・組織に関する指標 | 目標・実績 | H29年度 (現状値) | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|--|-----------------------------------|---|-------|------|------|------|----|
| 1 倉庫業に必要なコンプライアンスに反する事案の発生件数 | 目標値 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 件 |
| | 説明 コンプライアンスに重点を置いた経営を推進していきます。 | 実績値 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 指標1 に対する達成度 | a | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 | | | | | |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について) | | | | | | | |
| コンプライアンスに重点を置いた経営を推進することにより発生件数はゼロでした。 | | | | | | | |

| | | | |
|---|-------------|----|---|
|  | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由 |
| | | A | 各法令に基づき、管理責任者等の選任や設備の点検・記録、各種申請・届出等を適切に実施しており、コンプライアンスに反する事案は発生していない。 |

改善 (Action)

| | | |
|----------------------------------|---|-----------|
| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
| | I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 | I |

●法人情報

(1) 財務状況

| 収支及び財産の状況(単位:千円) | | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
|------------------|------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 損益計算書 | 営業収益 | 377,538 | 388,704 | 379,402 | 372,170 |
| | 営業費用 | 340,108 | 354,676 | 342,258 | 334,477 |
| | 営業損益 | 37,430 | 34,028 | 37,144 | 37,693 |
| | 経常損益 | 37,530 | 33,010 | 37,163 | 37,817 |
| | 当期損益 | 29,601 | 23,523 | 21,741 | 26,677 |
| 貸借対照表 | 総資産 | 488,409 | 471,293 | 460,511 | 437,450 |
| | 流動資産 | 337,837 | 314,767 | 317,346 | 312,915 |
| | 固定資産 | 150,571 | 156,526 | 143,165 | 124,536 |
| | 総負債 | 509,936 | 469,298 | 436,775 | 387,038 |
| | 流動負債 | 140,302 | 120,145 | 103,440 | 93,366 |
| | 固定負債 | 369,634 | 349,154 | 333,335 | 293,672 |
| | 純資産 | △21,527 | 1,995 | 23,736 | 50,413 |
| | 資本金 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 |
| | 剰余金等 | △71,527 | △48,005 | △26,264 | 413 |

| | | | | |
|----------------|----|----|----|----|
| エラーチェック | OK | OK | OK | OK |
|----------------|----|----|----|----|

| 本市の財政支出等(単位:千円) | | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
|-----------------|--|--------------|-------------|-------------|-------------|
|-----------------|--|--------------|-------------|-------------|-------------|

| | | | | | |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--|
| 補助金 | | | | | |
| 委託料 | | | | | |
| 指定管理料 | | | | | |
| 貸付金(年度末残高) | | | | | |
| 損失補償・債務保証付債務(年度末残高) | | | | | |
| 出資金(年度末状況) | 40,000 | 40,000 | 40,000 | 40,000 | |
| (市出資率) | 80.0% | 80.0% | 80.0% | 80.0% | |

| 財務に関する指標 | | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
|----------|--|--------------|-------------|-------------|-------------|
|----------|--|--------------|-------------|-------------|-------------|

| | | | | |
|--|---------|---------|--------|--------|
| 流動比率(流動資産/流動負債) | 240.8% | 262.0% | 306.8% | 335.1% |
| 純資産比率(純資産/総資産) | -4.4% | 0.4% | 5.2% | 11.5% |
| 純資産利益率(当期損益/純資産) | -137.5% | 1179.0% | 91.6% | 52.9% |
| 総資産回転率(営業収益/総資産) | 77.3% | 82.5% | 82.4% | 85.1% |
| 収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/営業収益 | | | | |

| 法人コメント | | 本市コメント | | | |
|--------|--|--------|--|--|--|
|--------|--|--------|--|--|--|

| 現状認識 | 今後の取組の方向性 | 本市が今後法人に期待することなど |
|---|--|--|
| <p>新型コロナウイルス感染症の影響等による場内取扱量の減少や支出の多くを占める電気コストが高水準にあること、施設の老朽化により、依然として厳しい経営環境にあります。しかしながら、安定した収入となる容積建保管の売上を確保するとともに、経費節減に取り組むことで前年度以上の経常利益を確保することができました。</p> | <p>水産物部の場内取扱量が減少傾向にあるなど、依然として厳しい経営環境にある中、場内事業者のニーズを踏まえ、場内外事業者への効果的な営業展開に努め売上を維持しつつ、人件費の節減等により経費を最小限に抑制することで、減免の見直し後も2,100万円を超える経常利益の確保を目指してまいります。</p> <p>また、それにより、借入金の返済を確実に進めながら、老朽化している3号棟冷蔵庫の施設機能保全にも努めていきます。また、今後の経営に関する方針の作成に向けて取組みを進めるとともに、令和6年度の借入金の返済終了時に向けて使用料の減免の見直しを進めてまいります。</p> | <p>単年度取支は昨年度に引き続き、黒字を継続しており、今年度は利益剰余金についてマイナスから脱却するなど、経営改善は着実に進んでいます。今後も新型コロナウイルス感染症に加え、電気料金の高騰など不透明な経営環境が想定されますが、引き続き売上の拡大、動力費等の経費の削減に努めるなど、更なる経営改善を進め、使用料の減免の見直しなど、独立した法人として経営が行われるよう取組を進めていく必要があります。</p> <p>なお、本市の財政支出はなく、市への収入依存度は低い状況ですが、公共性の観点から使用料の減免(24,629千円/年)を行っています。</p> |

(2) 役員・職員の状況(令和4年7月1日現在)

| | 常勤(人) | | | 非常勤(人) | | |
|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | 合計 | (うち市派遣) | (うち市OB) | 合計 | (うち市在職) | (うち市OB) |
| 役員 | 2 | 0 | 1 | 5 | 1 | 0 |
| 職員 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性